

群馬県立安中総合学園高等学校 定時制課程

住所 〒379-0116 群馬県安中市安中1-2-8
電話 027-381-0666 FAX 027-382-7207

<学校の目標・校訓>

こころざしを常に高くもち、地域社会さらには国際社会で活躍できる人間を育てる。

「軒昂な意気」「深遠な叡智」「個性の光輝」

この校訓には、意気高く奮い立ち、自らの夢を追い求め、すぐれた智恵をはぐくみ、心と技を磨き、輝いて欲しいという思いが込められています。これを実現させるために、気持ちよいあいさつが飛び交う学校、校内規律が自然に守られる学校、学習やスポーツ活動に全力で取り組む学校を目指し、日々教育活動を展開しています。



<新入生歓迎会>

<学校の沿革>

平成20年4月1日 群馬県立安中総合学園高等学校に定時制課程（普通科）を開設する。

<設置科の特色>

1 在校生数（令和元年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	合計
男子	5	4	4	3	16
女子	3	4	2	6	15
合計	8	8	6	9	31

2 通学区別生徒数（令和元年5月1日現在）

市町村	1年	2年	3年	4年	合計	割合
安中市	4	8	4	4	20	65%
高崎市	4		2	5	11	35%
その他						0%

3 教育課程の特色

- (1) 授業では少人数であることの利点を生かし、個々の生徒の実態に合わせて先生方が丁寧に指導してくれます。また、上級学校への進学を目指す生徒には個別指導を行っています。
- (2) 実社会で必要とされる基礎学力の習得に重点を置くとともに、情報化社会に対応するため、コンピュータの実習をする「情報」の学習が、1学年から4学年の4年間開設されています。
- (3) 平成26年度から4学年において、学校設定科目「ヒューマンリレーション」を開講し、よりよい人間関係づくりのために実践的な発想とスキルを学んでいます。

<学校の特色>

- 1 各学年1学級（定員40名）で男女共学です。昼間は仕事をしている生徒もいます。大学や専門学校等の進学を希望する生徒もいます。
- 2 授業は、夕方の5時30分から8時55分まで45分×4校時で行われます。1校時と2校時の間にSHRがあります。

<主な学校行事>

保護者やOBとの交流会、生活体験発表会、校外学習（日帰りバス旅行）、校内球技大会（5月バドミントン、3月卓球）等の特色ある学校行事があり、生徒一人ひとりの個性が発揮されています。このような行事の取り組みを通して、生徒間はもとより、教師と生徒のコミュニティーが構築されています。

<卒業式の集合写真>



<部活動>

放課後の活動時間の確保が難しいのが実情であり、現在登録して競技会に参加する部活動はないが、体育館でバドミントンをする生徒が数名おり、ほぼ毎日活動している。

<進路>

- 1 平成27年度卒業生10名
新規就労者4名 進学3名(専門学校3)
- 2 平成28年度卒業生3名
進学1名(専門学校1)
- 3 平成29年度卒業生3名
新規就労者2名
- 4 平成30年度卒業生9名
新規就労者5名

<入試について>

- 定時制選抜(3月上旬予定)
- 再募集(3月下旬予定)
- 追加募集(4月上旬予定)を予定
- ※ 令和2年度群馬県公立高等学校入学者選抜実施要項を基準とします。

<通学方法>

学校の所在地は、JR安中駅から自転車で約20分ほどの所です。

- 自転車、電車、送迎、その他
- 原動機付き自転車、自動車は許可車に限り、車両通学許可証が必要となります。

<定時制の利点>

- 1 在籍者が少ないので、学習や進路について十分な個別指導が受けられる。
- 2 先生と生徒は非常に親しみがある。
- 3 生徒同士は非常に仲がよい。
- 4 1年生から4年生まで一緒に活動できる。

<望ましい生徒像>

1 定時制に適している生徒

- (1) 仕事をしながら高校卒業の資格を取りたい生徒
- (2) 仕事をして貯蓄し、高校卒業後自分の力で大学や専門学校に行きたい生徒
- (3) 家業等の手伝いをし、技術を生かして大学等へ進学したい生徒
- (4) 趣味や特技に使う時間を確保し、高校卒業の資格を取りたい生徒
- (5) 専門学校へ通いながら高校卒業の資格も取りたい生徒

2 定時制には向いていない生徒

- (1) 人に言われ、いやいやながら入学してくる生徒
- (2) 午後5時以降にテレビを見たり、遊んでいた生徒
- (3) 時間が守れず、約束を守れない生徒
- (4) 定時制は遊ぶ場所と思っている生徒
- (5) 学習意欲と卒業願望の弱い生徒